

インターバンクの声（2015年2月26日）

一部から前日の証言よりも利上げ時期を明確にするのではとの期待感もあったイエレン米連邦準備制度理事会（FRB）議長の下院金融委員会での証言だったが、残念ながら前日の上院銀行委員会での内容とほぼ同じになることが始まる前からわかってしまっていたようだ。このため、議長証言への期待感に一旦ニューヨーク市場の朝に119円台乗せを果たしていたドル円相場も、その後は118円台後半での動きに終始する鈍い相場になってしまった。もっとも、議長の利上げを急がない姿勢を改めて示した後の株式市場でも株価が極端に上昇することもなく、為替市場でもドル売りが大幅に進むこともなかった。要は今晚に発表される消費者物価指数に始まり、明日の第4・四半期GDP改定値から来週の雇用統計に至るまでの米経済指標などをじっくり精査して行くことになるのだろう。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。